

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 3 回幹事会議事録

日 時：平成 27 年 9 月 17 日（木）14:00～17:00

場 所：メルパルク OKAYAMA

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，大久保幹事，葛西幹事，斉藤(成)幹事，齋藤(隆)幹事，下村幹事，平幹事，中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事，久米村事務局

配布資料：

- 資料 幹 3-0 平成 27・28 年度第 3 回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹 3-1 平成 27・28 年度第 2 回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹 3-2-1-1 平成 27 年度年次学術講演会（研究討論会）
- 資料 幹 3-2-1-2 H27 複合研究討論会配布資料
- 資料 幹 3-2-2 平成 27 年度年次学術講演会（共通セッションプログラム）
- 資料 幹 3-3 第 11 回複合・合成構造シンポジウム準備
- 資料 幹 3-4-1 土木学会論文集 A1 特集号：複合構造準備状況
- 資料 幹 3-4-2 土木学会論文集編集委員会_編集調整会議からの意見集約（依頼）について
- 資料 幹 3-5 出版関係
- 資料 幹 3-6-1 新規委員会（FRP 接着による補修・補強の指針化）の準備状況について
- 資料 幹 3-6-2 新規委員会テーマ案
- 資料 幹 3-7-1 H101 示方書委員会
- 資料 幹 3-7-2 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員会
- ~~資料 幹 3-7-3 H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会~~
- 資料 幹 3-7-4 H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会
- 資料 幹 3-7-5 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- ~~資料 幹 3-7-6 H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会~~
- ~~資料 幹 3-7-7 H214 複合構造の防水・排水研究小委員会~~
- 資料 幹 3-8 【推薦依頼・募集要領】鹿島財団研究助成
- 資料 幹 3-9-1 学術交流基金意見照会_依頼文書
- 資料 幹 3-9-2 ★学術交流基金意見照会_意見提出様式（複合構造）
- 資料 幹 3-9-3 S-01_学術交流基金意見照会_添付資料
- 資料 幹 3-9-4 S-02_学術交流基金意見照会_参考資料
- 資料 幹 3-10 平成 27 年度 複合構造委員会 修正予算（承認済）
- 資料 幹 3-11 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員構成
- 資料 幹 3-12 Lorenc 先生講演会開催案内

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より，幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第2回幹事会議事録案の確認（資料 幹3-1）

葛西幹事より、資料に沿って説明があり、以下の修正を行うこととして承認された。

- ・項目の番号ずれの修正
- ・第1回委員会議事録案の確認：「修正をすることとして」→「修正をすることとして」
- ・平成27年度全国大会・研究討論会：「日程ついて」→「日程について」
- ・H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会：「意見紹介」→「意見照会」

2. 平成27年度全国大会・研究討論会（資料 幹3-2-1-1、3-2-1-2）

斉藤(成)幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・奥井委員長より趣旨説明を行ったあと、各15分程度の話題提供を行う。
- ・最終日の最後のセッションということもあり、各幹事に参加協力依頼があった。

3. 平成27年度全国大会・共通セッション（資料 幹3-2-2）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・セッションのタイトルを「複合構造」に修正した。
- ・今回は2か所の会場で同時実施となる。

4. 第11回複合・合成構造シンポジウム（資料 幹3-3）

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・建築分野で2件の取り下げがあり、講演数は55件となった。
- ・現状で未提出が2件とフォーマットの修正が1件ある。これらに対して直接電話で提出を催促しており、月末に揃う予定である。
- ・土木学会論文集特集号のプレ査読の工程に影響するので、月末には全て提出してもらう予定である。
- ・パネルディスカッションの原稿は、4件中2件を受領済み。締切りは一般原稿と同じである。
- ・優秀講演賞の対象者について、これまで建築では学会名での表彰は難しいと話があったので、対象を土木分野のみとしていた。しかしながら両分野に関わっている人もおり、再検討が必要である。当初土木分野のみとした時から時間が経っているので、再度建築の運営事務局に対象者について確認する。ただし、今回は従来通り土木分野の原稿を対象とする。
- ・受付で販売する委員会出版物については、出版委員会に依頼したものを並べてもらえることから、複合構造標準示方書とその他いくつかを並べる予定である。
- ・プログラムについては、取り下げた原稿があったので現在調整中である。
- ・事業計画書を資料の通り修正した。収支差額は+約20万円である。

5. 土木学会論文集 A1 特集号（複合構造論文集）準備状況（資料 幹3-4-1）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・「報告」のカテゴリでの投稿を試行的に実施する。投稿要項については作成済みである。
- ・小委員会報告については、次の3委員会に執筆依頼する。

H101複合構造標準示方書、H181合成床版設計・施工指針、H206ずれ止めの性能評価法

- ・小委員会報告の締切りは、1月末である。
- ・H212耐荷メカニズムの小委員会報告は、次号（第4巻）とする。
- ・現在、プレ査読員を選定中である。

6. 土木学会論文集編集委員会 編集調整会議からの意見集約依頼について（資料 幹3-4-2）

中村幹事より、資料に沿って説明があった。A2（応用力学）部門では通常号の論文数が少ないこと

について対応策を議論しており、A1部門の特集号を担当している委員会に意見を求められた。

下記の意見が出たので、中村幹事がこれらの意見をまとめ回答する。

- ・投稿者は投稿先を選別して投稿しているはずなので、編集委員会が投稿先を特集号から通常号へ変更するのはおかしい。
- ・特集号に投稿するのは、スケジュールが決まっているからという面がある。通常号が発刊まで時間がかかりすぎているのが問題である。審査の時間を短くする必要がある。
- ・特集号が通常号に比べてランクが下とは考えていない。
- ・地道に投稿数を増やす努力をしてもらう。

7. 出版（資料 幹3-5）

大久保幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・販売促進を行う必要があるのは、複合構造レポート7, 9, 10, 11, 12である。
- ・示方書講習会を行うことで示方書の販売数が増えるが、これから開催する予定の地方講演会では、示方書を購入しなくてもよいことになっている。

8. 新規小委員会案について（資料 幹3-6-1）

(1) FRP接着による補修・補強の指針化について

中村幹事より、資料に沿って準備状況の説明があった。

- ・小委員会名：FRP補修・補強指針作成小委員会を1種委員会として立ち上げる。
- ・コンクリートライブラリー101（連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針）との調整が必要であるため、副委員長にはコンクリート委員会常任委員の方に依頼する予定である。まずは、H209（FRPによるコンクリート構造物の補強設計研究小委員会）の委員長であった北海道大学佐藤先生にお願いする予定である。
- ・複合構造標準示方書小委員会からのコメントとして、この小委員会の成果を次期示方書改定に取り込みたいので、スケジュール通り（2018年3月脱稿）進めて欲しい。
- ・指針作成に当たっては、2019年度版につながるよう複合構造標準示方書2014年度版の思想をうまく取り込んでいただきたい。

(2) 新規委員会テーマ案（資料 幹3-6-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・示方書委員会として、FRPで必要なものがあれば150番台の委員会立ち上げを検討する。
- ・2種委員会として、既設構造物の性能評価に関する研究小委員会（渡辺忠朋委員長）の立ち上げを検討中である。
- ・複合構造の収縮・クリープに関する委員会を立ち上げ、下村幹事に委員長となっていただきたい。
⇒下村幹事より、委員会立ち上げを検討することを了承いただいた。コンクリート委員会でも同様の委員会が立ち上がる予定であり、それとの棲み分けを含め、2種委員会として進める方向で、どのような内容とするのがよいか、次回までにアイデアを固めて資料を提出していただく。

9. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料 幹3-7-1）

斉藤幹事より、資料に沿って説明があった。

- ・第1回幹事会を実施した。年内に第2回を開く予定である。
- ・今年度末を目標に委員を選定し、全体委員会を開きたいと考えている。
- ・示方書2014年度版の地方講習会がある。行事計画書は地方担当者が作成する必要があるのか、斉藤幹事が確認の上、連絡する。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会（資料 幹3-7-2）

葛西幹事より、資料に沿って報告があった。

- ・ H29年3月の発刊を目指す。活動期間は実質1年と厳しいが、初版本がその頃に売り切れる予定であり、大山委員長からは発刊を間に合わせるとのことである。

(3) H150各種ずれ止めの性能設計調査研究小委員会

平幹事より、報告があった。

- ・ 第1回委員会が8月26日に開催され、古内委員長、高橋幹事長から主旨説明と各ずれ止めに関する現状の課題について説明があった。
- ・ 第2回委員会が11月17日に開催される予定である。

(4) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹3-7-5）

牧幹事より、資料に沿って報告があった。

(5) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事長より、報告があった。

- ・ 現在、WGごとに活動中である。

(6) H214 複合構造の防水・排水研究小委員会

溝江幹事より、報告があった。

- ・ 第1回小委員会を開催した。

(7) H181 鋼コンクリート合成床版設計・施工指針作成小委員会（資料 幹3-7-4-1, 3-7-4-2）

大久保幹事より、資料に沿って報告があった。

- ・ 対応報告について
 - 5章-No. 1：他の示方書の引用について、引用記載を行わず全て記載する方針とのことだが、条文を書くのはよいが、引用したことがわかるように表記すべきである。
→【解説】に引用したことが分かるよう追記する。
 - 14章-No. 3：14. 1. 3の解説が非常に長い。資料とするなどの対応が必要である。
→再度検討する。
 - 14章-No. 4：維持管理限界値について、合成床版の要求性能を満足する限界状態（設計時の照査用限界値）に余裕代を考慮して設定することとしているが、余裕代を考慮する必要はない。
→小委員会の幹事会で検討する。
- ・ 親委員会の意見照会は、今日の指摘を修正した上で行う。期間は2週間くらいである。
- ・ 意見照会であり、査読ではない。よって、対応できないものについては次回の課題として取り扱う。（示方書の場合は親委員会で査読して外部に意見照会。指針案は親委員会に意見照会）
- ・ 最終的な対応結果は、メール審議を行った結果として、親委員会で報告する。

1 0. 鹿島財団研究助成について（資料 幹3-8）

滝本幹事長より、説明があった。

- ・ 1件応募希望があり、資料を渡し対応した。

1 1. 学術交流基金の助成に係る改革案について（意見照会）（資料 幹3-9-1, 3-9-2）

滝本幹事長より、資料に沿って報告があった。

- ・資料3-9-2の通り、意見書を作成した。意見があれば来週中に滝本幹事長まで連絡する。

1 2. メール審議案件について

滝本幹事長より、下記2件についてはメール審議で承認済みであることの報告があった。

- ・平成27年度複合構造委員会修正予算（資料 幹3-10）
- ・H103複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員構成（資料 幹3-11）

1 3. Lorenc先生講演会について（資料 幹3-12）

滝本幹事長より、資料に沿って報告があった。

- ・10月28日に大阪工業大学うめきたナレッジセンターで開催される。
- ・複合構造委員会の実績とするためには、主催あるいは共催である必要があるので、大阪工業大学と調整する。また、案内を外部に発信する必要がある。
- ・参加費無料なので、行事計画書は必要ない。

1 4. その他

- ・次回

日時：平成27年11月4日（水）14:00-17:00

場所：土木学会

以 上

（記録・文責：平）